令和２年１月１５日

各保護者様

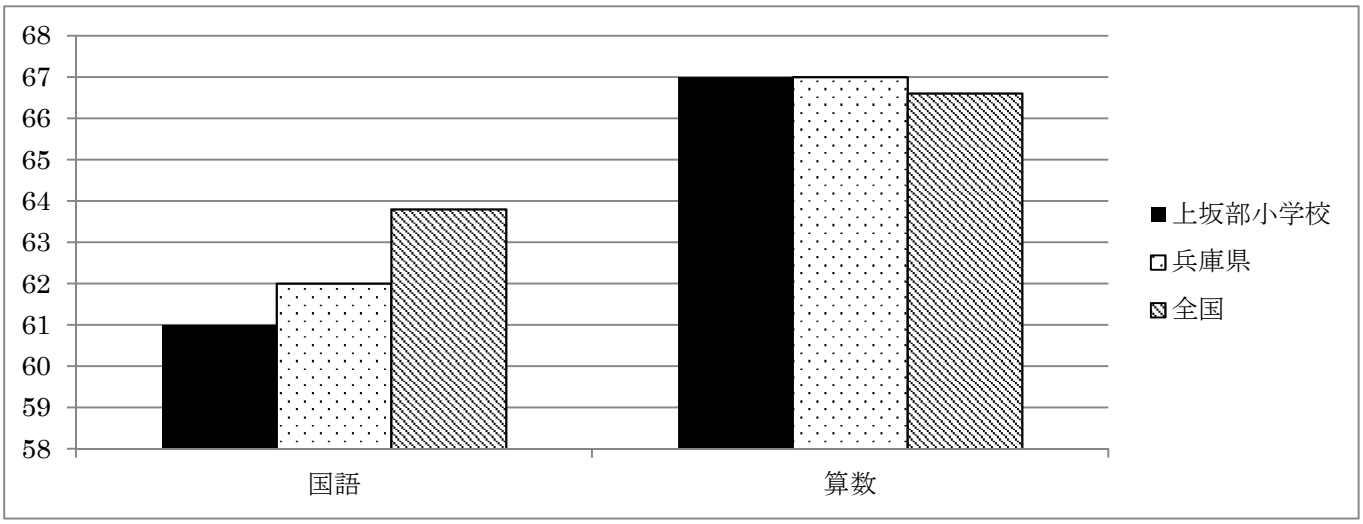
尼崎市立上坂部小学校
校長　加藤　英仁

学力調査の結果について

立春の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校の学校教育の推進にご理解とご尽力賜り、厚くお礼申し上げます

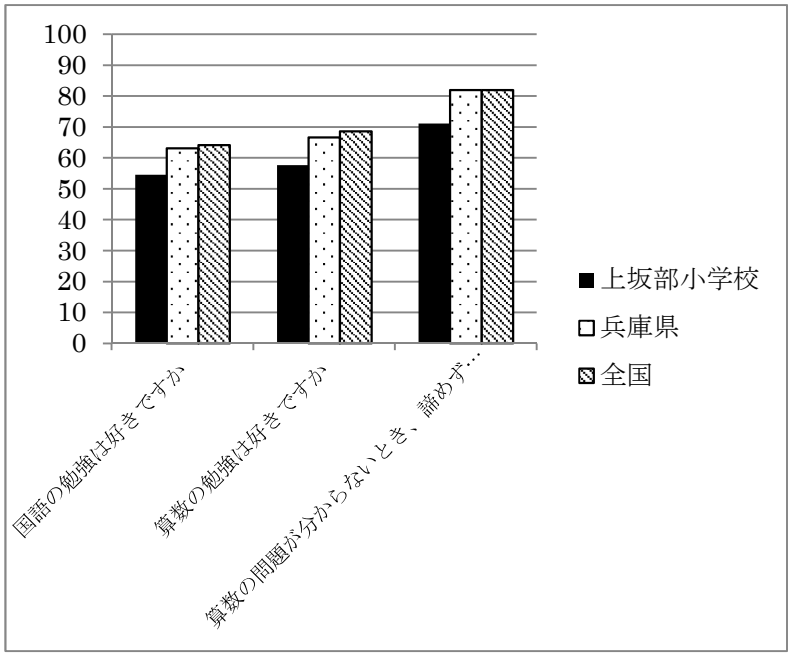
6 年生の全国学力・学習状況調査の結果について、お知らせします。

学力について



学力調査の結果、数字で見ていただけばわかるように、本校の児童の平均正答率は、国語において全国平均より下回る結果になったといえます。算数は、全国平均を少し上回る結果になりました。国語は全国に比べて、２．８ポイント下回っています。算数は、０．４ポイント全国を上回る結果となりました。国語の正答率が低くなっている設問を見ると、書く事項で、目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く力がやや低いと考えられます。算数においては、図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成する設問の解答率がやや低いですが、それ以外は、ほぼ同等の正答率といえます。

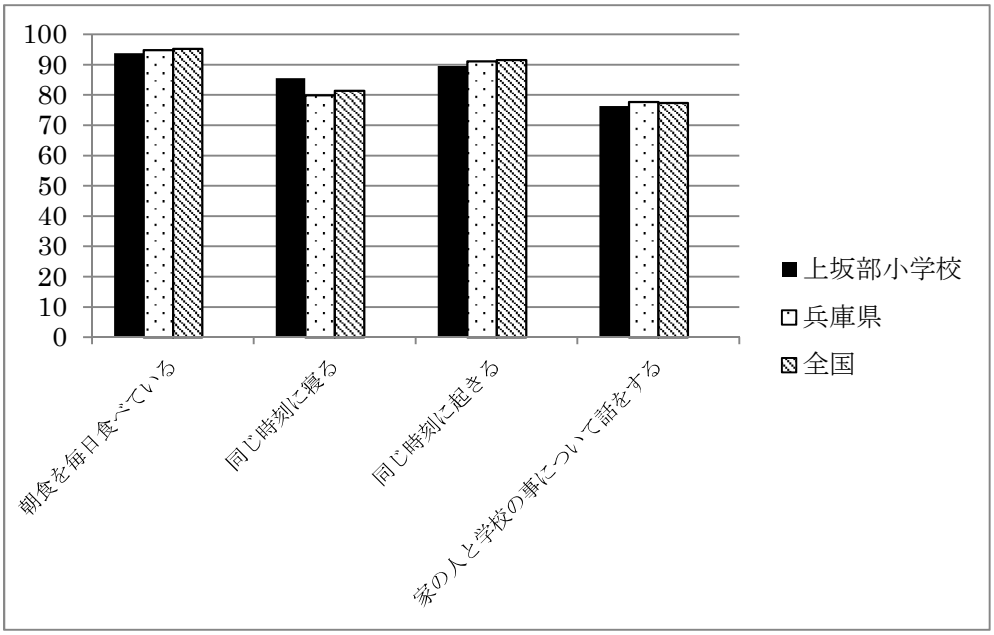
学習意欲・関心（当てはまる、どちらかと言えば当てはまるを合わせた値）



学習が好きかどうかについて全国に比べて国語については 9.6 ポイント低い結果です。算数については 10.9 ポイント下回っています。算数の問題が分からないとき、諦めずに色々な方法を考えるかについては、10.9 ポイント低い結果となりました。

学習への興味関心が低い傾向が見られます。全体的に低いことから学習意欲を高めていく工夫が必要であるといえます。

生活実態調査について

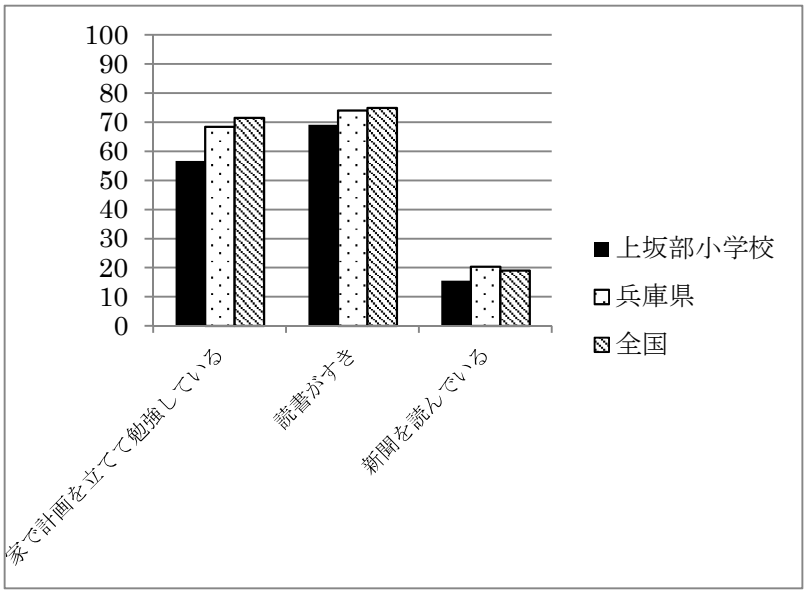


生活習慣・きまりについて「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」の割合を表したものです。

生活実態調査について見ていくと、同じ時刻に寝ている項目が全国平均以上です。

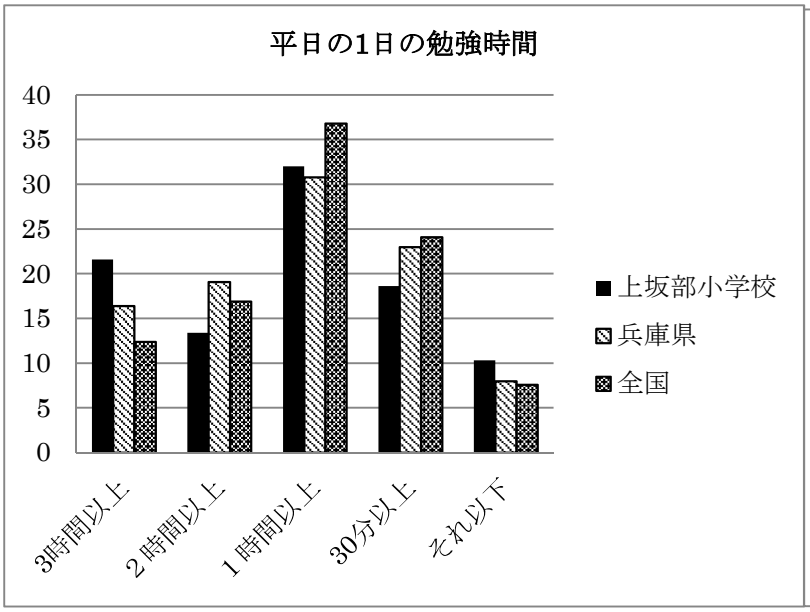
しかし、朝食を毎日食べる、同じ時刻に起きるは全国平均を下回っています。また、家の人と学校について話をする項目もやや全国平均を下回っています。

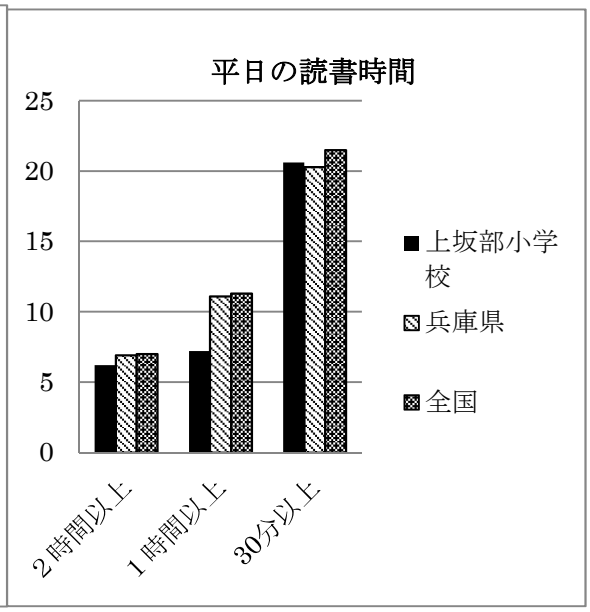
家庭学習・読書について



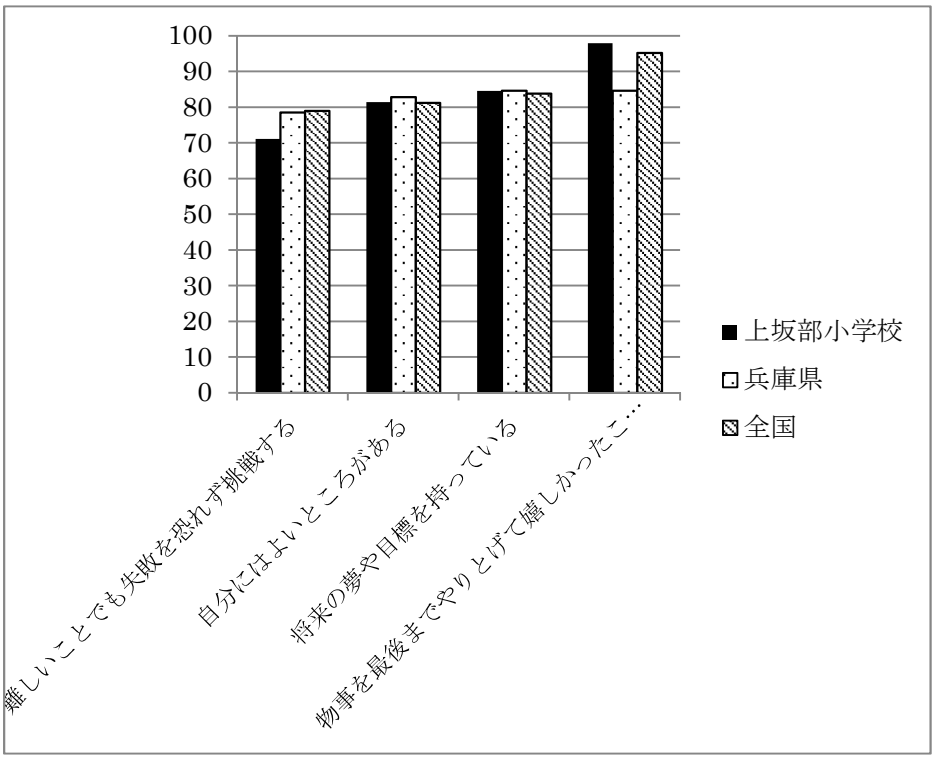
家庭で計画を立てて勉強している児童の割合は、全国よりもかなり少ないことがわかります。読書がすきである、新聞を読んでいる（ほぼ毎日読んでいる、週に１～３回程度読んでいる割合を合わせたもの）も、全国を下回る結果になっています。

また、一日の勉強時間においては、３時間以上学習する児童の割合は全国よりも多く、一番高いことがわかります。しかし、それ以下の児童の割合が全国平均を上回ることから、勉強時間に差があることも見られます。平日の読書時間も、同様に全国を下回る結果となっています。





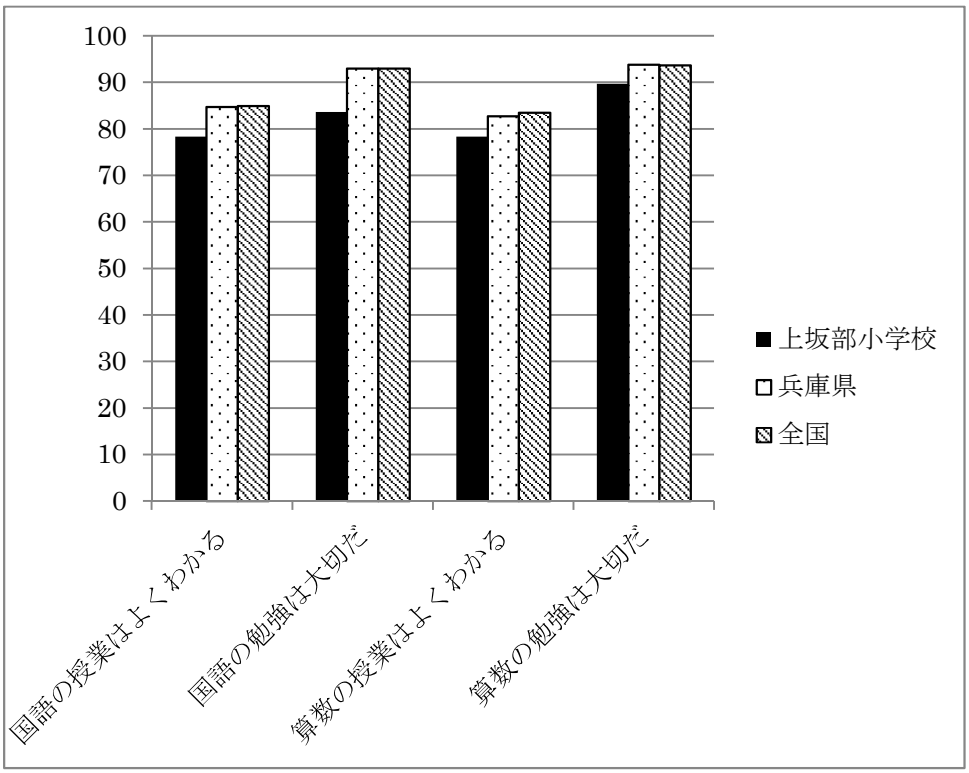
自己について（当てはまる、どちらかと言えば当てはまるを合わせた値）



難しいことでも、失敗を恐れず挑戦する児童が、全国平均を下回る結果になっています。自分にはよいところがある、将来の夢や目標を持っている児童は全国とほぼ同じです。物事を最後までやり遂げてうれしかったことがあると答えた児童の割合は、全国平均を上回る結果となっています。学校や家庭、地域などで努力した成果を実感できている児童が多いことがよくわかります。

自己肯定感をさらに高め、難しいことにも向き合えるような取り組みをしていくことが大切なことがうかがえます。

学習の理解度、必要性について（当てはまる、どちらかと言えば当てはまるを合わせた値）



国語、算数ともに授業がよくわかる児童は、全国平均を下回る結果となっています。また、国語や算数の勉強は大切であると感じている児童も、全国平均を下回っています。

子どもたちに、学習の大切さを伝えるとともに、わかりやすい授業をしていく工夫が必要であることがわかります。

全体を通して

全体から言えることは、学力について、算数は、全国を上回る結果であることは、落ち着いた環境で学習に取り組めていること、ご家庭の協力によるものであると思います。しかしながら、国語については課題があります。学習意欲を高めていくためには、主体的な学び･協働的な学びを取り入れた授業の改善により、内発的な動機付けを高められるような授業作りをしていかなければなりません。さらに生活習慣や時間の使い方などについては、規則正しい生活をし、読書をしたり、毎日の机に向かうことが習慣化することが大切ではないかと思います。

学校においても、さらに、自主学習の計画を立てて、自ら進んで学習できるような環境を作り、習慣化できるように取り組まなければいけないと考えます。